

参考資料集1

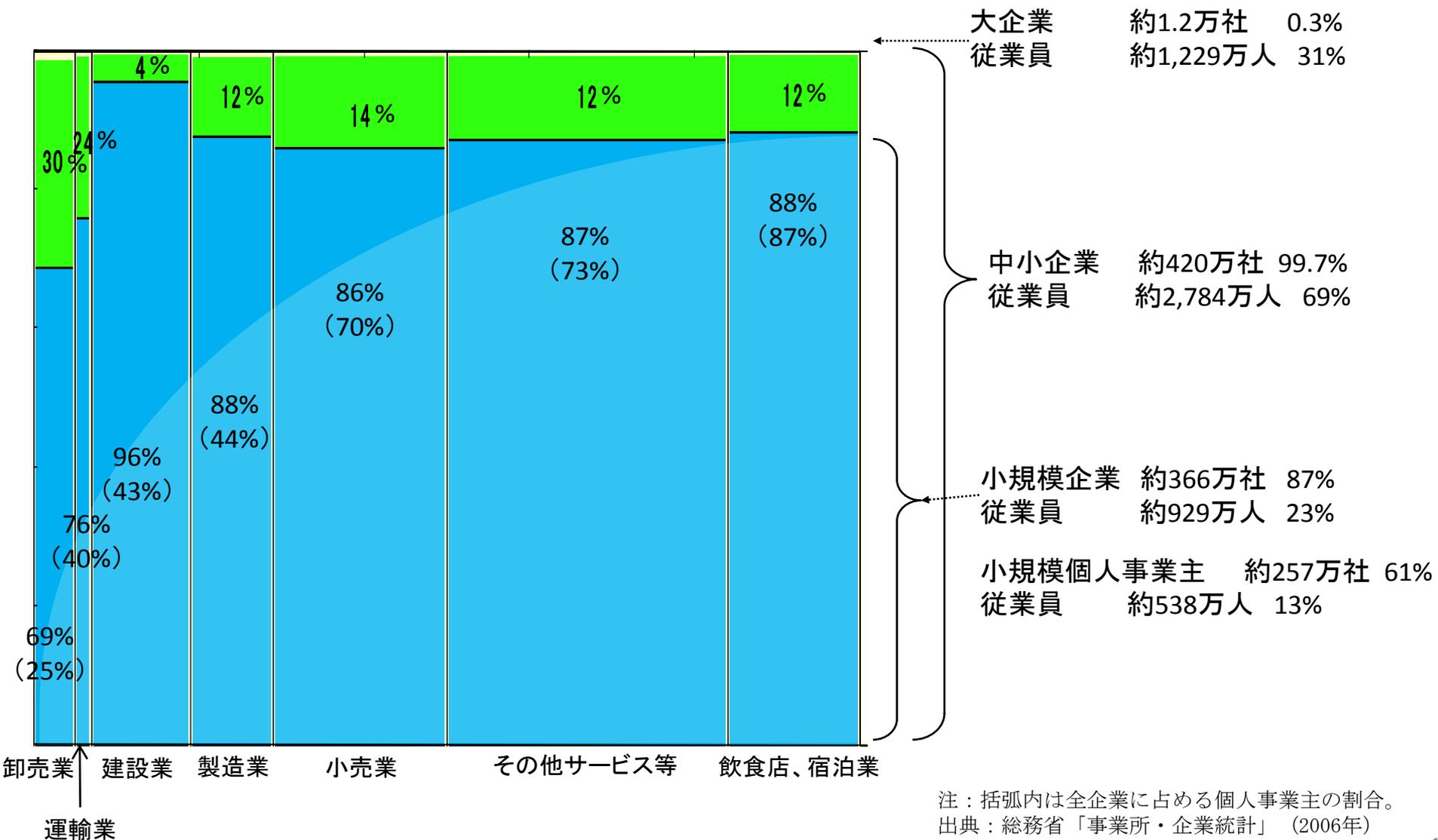
～中小企業の現状～

我が国の中小企業の状況

(参考1)

○我が国企業の99.7%が中小企業であり、中小企業の87%は小規模企業。

○飲食店・宿泊業、サービス業、小売業では、個人事業主の比率が高い。



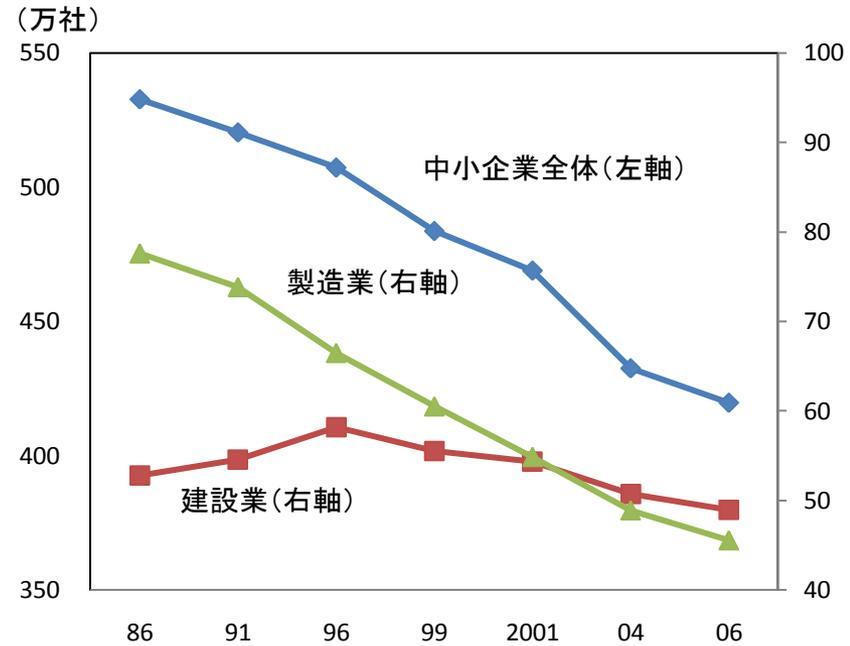
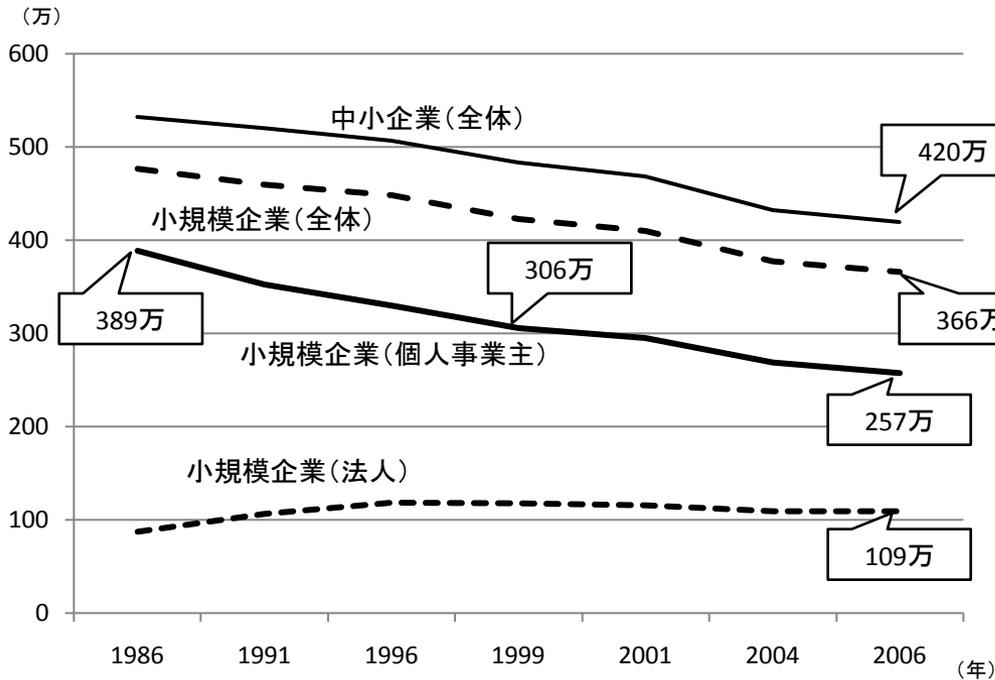
注：括弧内は全企業に占める個人事業主の割合。
出典：総務省「事業所・企業統計」(2006年)

我が国の中小企業数の推移

(参考2)

○近年、中小企業数は減少傾向。特に、小規模個人事業主の数の減少が顕著。

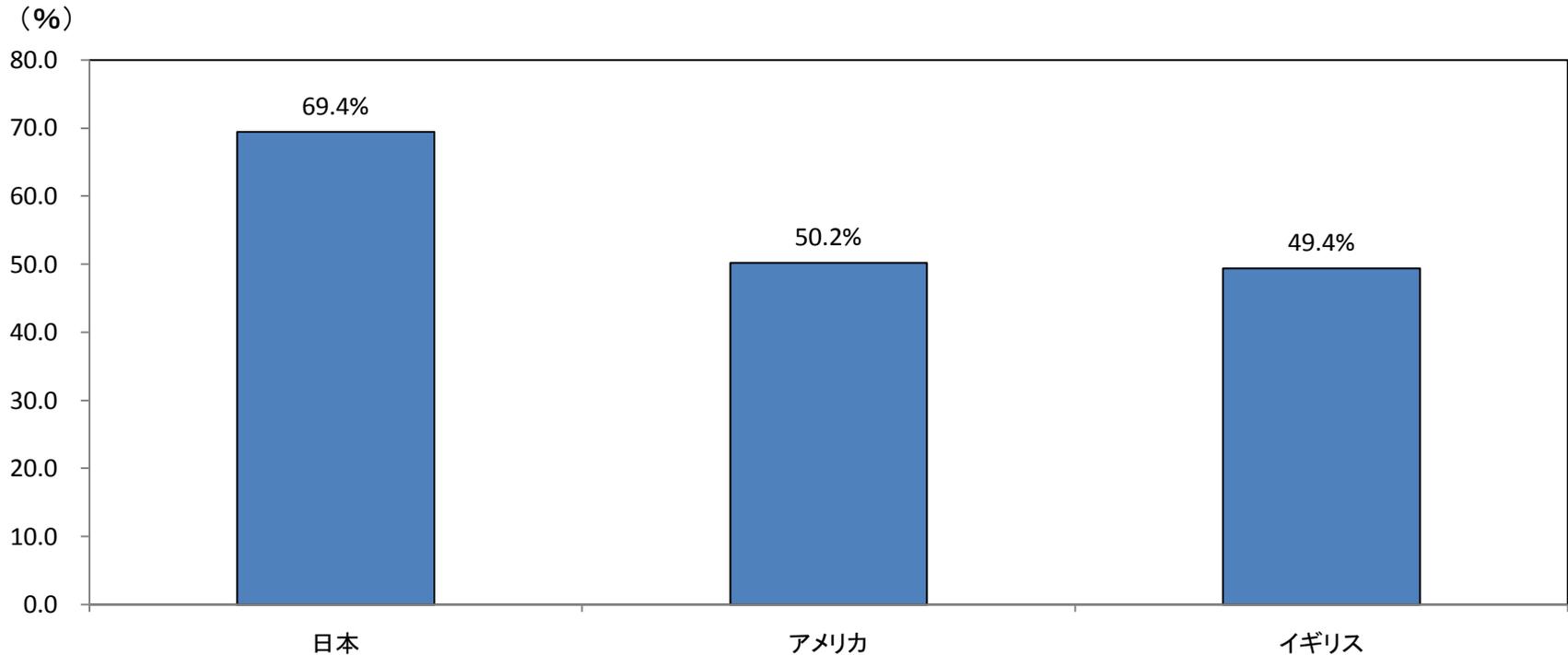
○業種別では、中小製造業の数の減少が大きく、中小建設業の数を下回る水準。



出典:総務省「事業所・企業統計」

○我が国では、中小企業が支える雇用の比率が高い。

○近年、我が国の中小企業が支える雇用の比率は、一貫して70%前後。
(96年:67.4%、99年:69.5%、01年:70.2%、04年:71.0%、06年:69.4%)



出典：総務省「事業所・企業統計」(2006年)

出典：アメリカ統計局
"Statistics of U.S. Business 2006"
中小企業の定義は従業員500人未満

出典：ビジネス・イノベーション・技能省
"SME Statistics for the UK 2008"
中小企業の定義は従業員250人未満

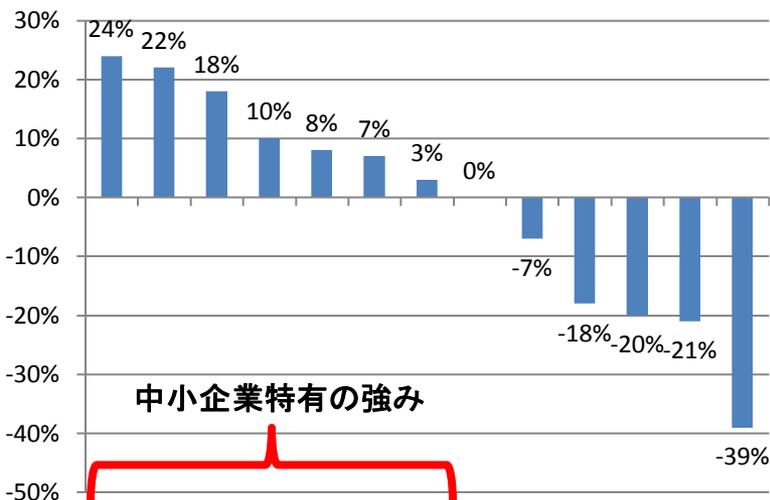
中小企業の強み

(参考4)

○中小企業は、「経営者と社員との一体感」、「ニーズへの柔軟な対応力」、「迅速かつ大胆な意思決定能力」を強みと考えている。

○このような強みを生かし、中小企業は、新商品等の開発・市場化・黒字化を大企業より早く達成。

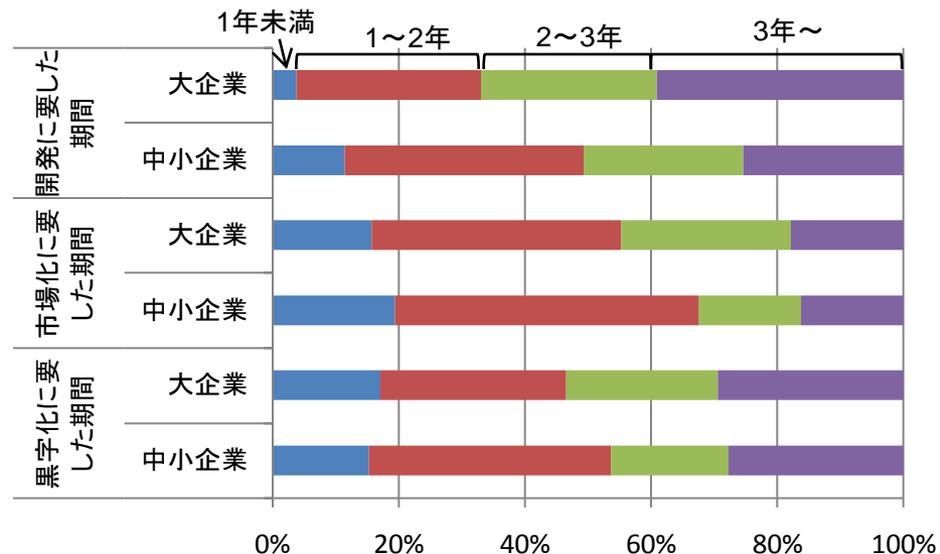
中小企業が考える自社の相対的な強み・弱み



中小企業特有の強み

- 経営者と社員間の一体感
- ニーズへの柔軟な対応力
- 迅速かつ大胆な意思決定能力
- 変化への迅速な対応・機動力
- 独自の技術、事業モデル
- 顧客等への提案力・課題解決力
- 社員のやる気を引き出す仕組み
- 人材の柔軟な確保・活用力
- 優秀な人材の育成・活用力
- 優れた設備の整備・活用力
- 必要資金の調達力
- 商品・サービスの品ぞろえ
- 規模の経済性を発揮

ヒット商品を生み出すまでに要する期間



出典: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「市場攻略と知的財産戦略にかかるアンケート調査」(2008年12月)

(注) 1. ここでいうヒット商品とは、「過去10年以内に企画・開発に着手した案件の中で、当該企業の収益に大きく貢献した新技術・新商品・新サービス」のことをいう。
2. 市場化とは、市場に出すまでという意味である。

出典: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「企業の創意工夫や研究開発等によるイノベーションに関する実態調査」(2008年12月)

(注) 回答者を中小企業、大企業の2グループに分類したうえで、各々の項目で「優れている」、「やや優れている」と答えた回答数を累計し、全項目の合計が100%になるように各グループ間で配点。その後、各々の項目において「{(中小企業グループの点数) / (大企業グループの点数)} - 1」を算出し、この値を高いものを「中小企業が相対的に優れていると考えている項目」とした。

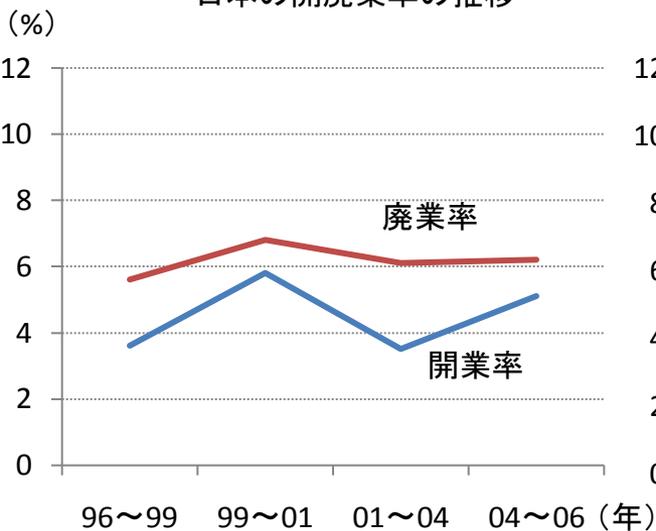
開廃業率の各国比較

(参考5)

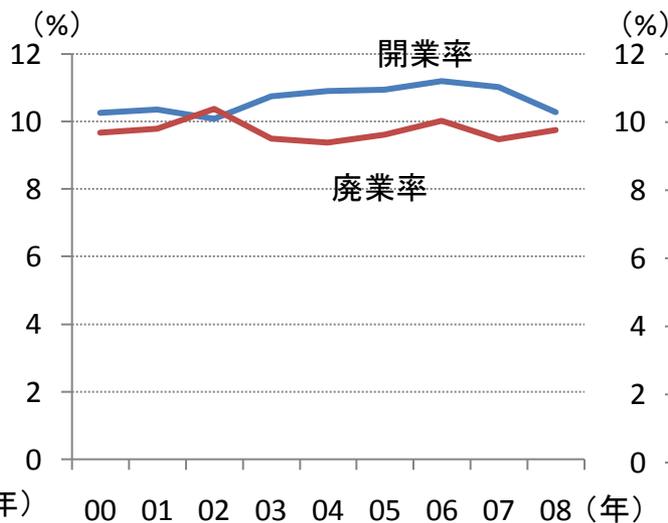
○我が国では、開業率が廃業率を下回り続けている。

○開業率、廃業率の水準はいずれもアメリカやイギリスを下回っている。

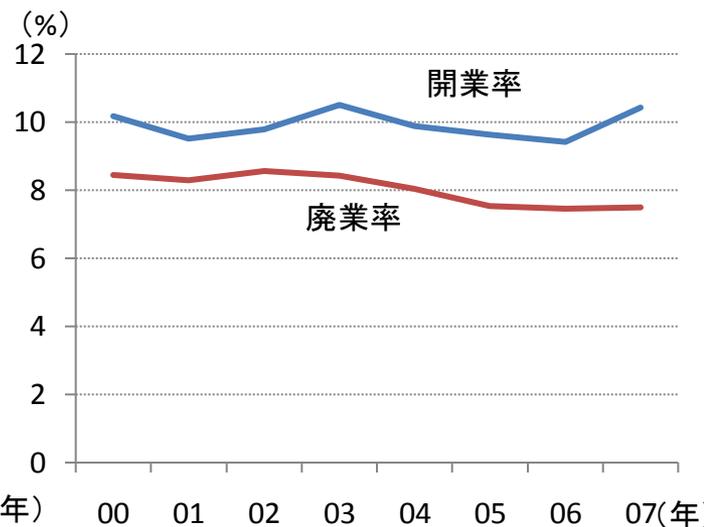
日本の開廃業率の推移



アメリカの開廃業率の推移



イギリスの開廃業率の推移

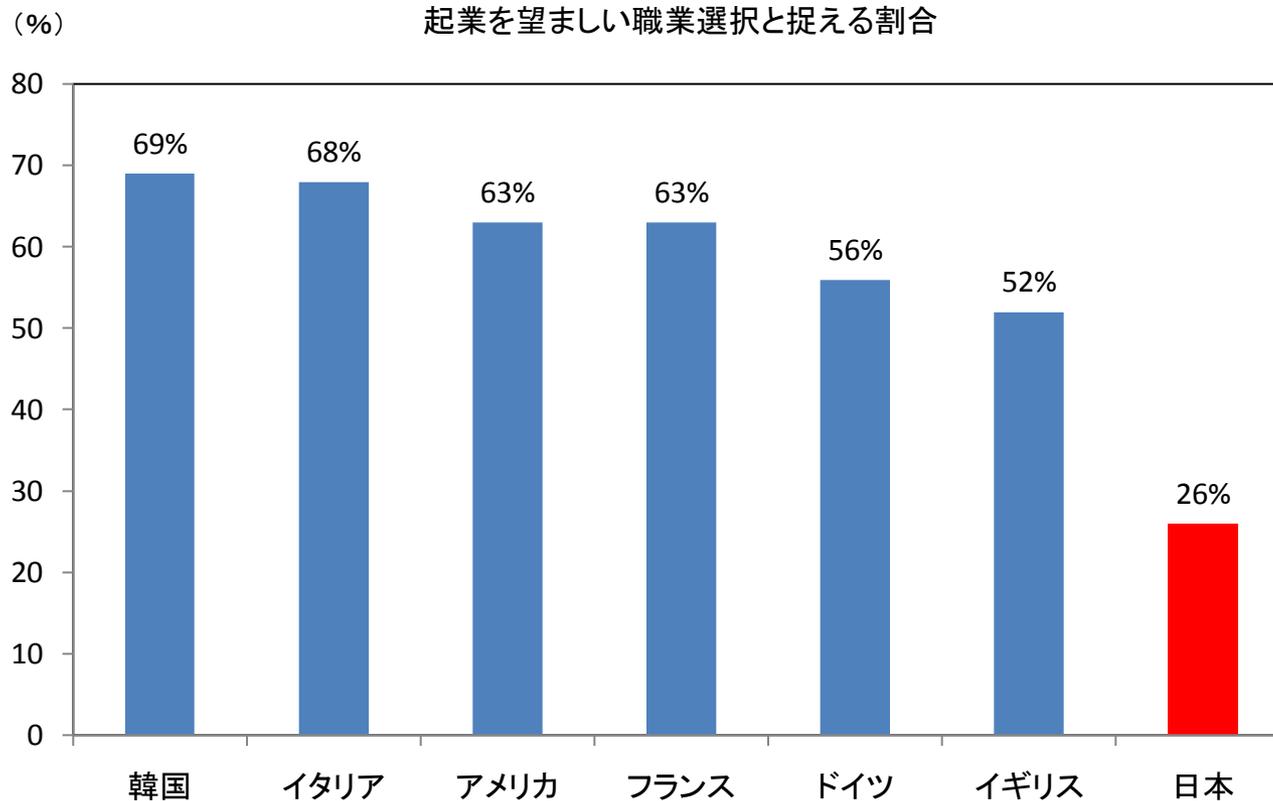


出典：総務省「事業所・企業統計」
(注) 調査期間中の開廃業企業数から、
1年当たりの開廃業企業数を試算し、期首の企業数
で除して算出。

出典："The SMALL BUSINESS ECONOMY
-A REPORT OF THE PRESIDENT" 2008-2009

出典：BIS Enterprise Directorate
Analytical Unit

○他の先進国と比較して、我が国で起業を希望する者の割合は低い。



出典: "Global Entrepreneurship monitor 2008 Executive Report" (ロンドンビジネススクール、バブソン大学等の研究者の共同調査)
各国の18歳から64歳の2000人以上に対して、「起業を望ましい職業選択と捉えるか」調査。

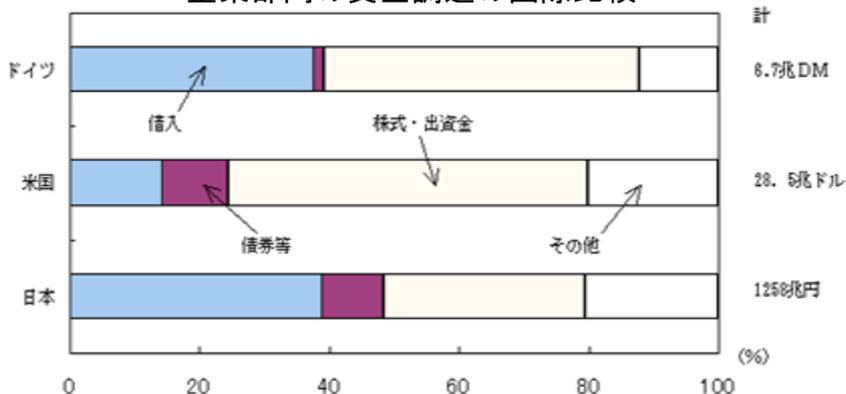
中小企業の資金調達

(参考8)

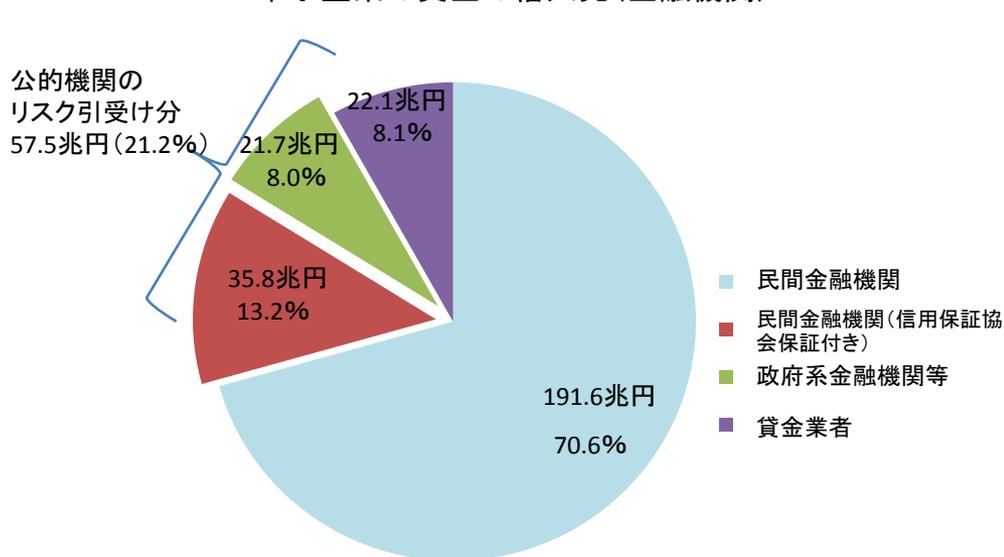
○我が国では、中小企業を中心に、間接金融への依存度が高い。

○中小企業の資金調達のうち約2割は、公的機関がそのリスクを引受け。

企業部門の資金調達の国際比較

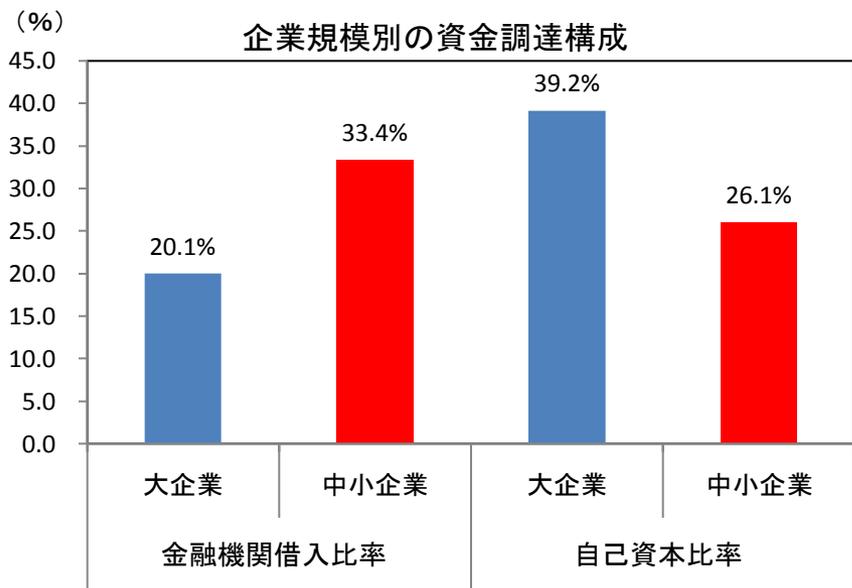


中小企業の資金の借入先(金融機関)



(備考) 中小企業庁作成(2009年)

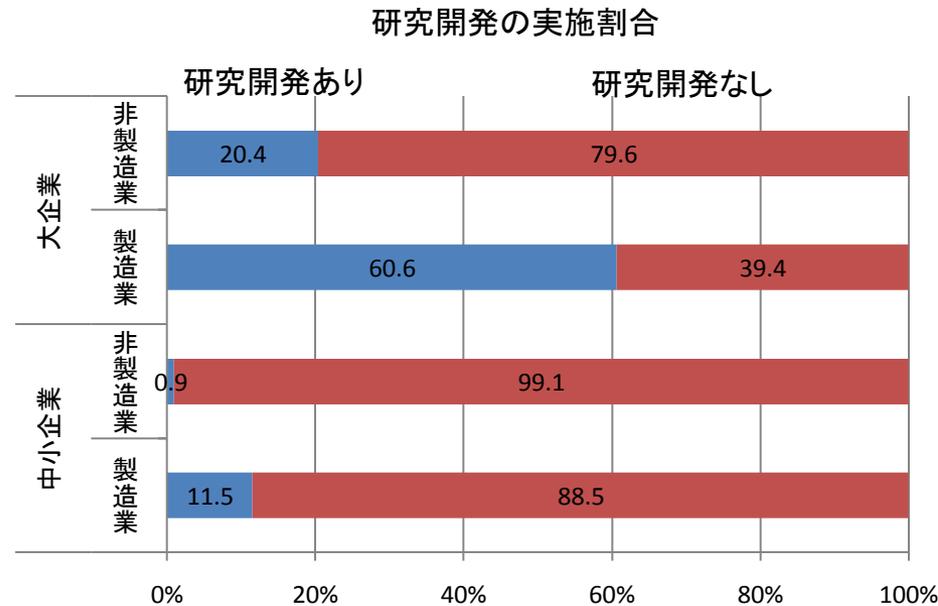
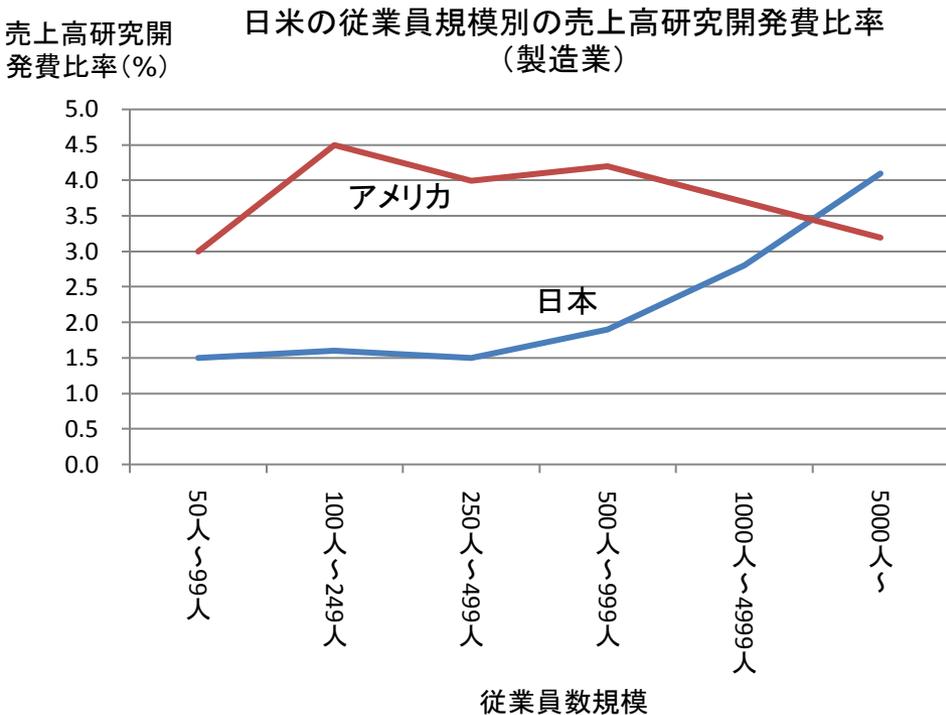
企業規模別の資金調達構成



出典: 1. 財務省「法人企業統計年報」(2008年度)により作成。
 2. 大企業は資本金1億円以上、中小企業は資本金1億円未満とした。
 3. 金融機関借入比率 = 短期・長期金融機関借入 / 総資産
 4. 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

○従業員数5,000人以上の大企業を除けば、我が国企業の売上高研究開発費比率はアメリカ企業よりも低い。

○我が国の中小企業は、大企業と比較して、研究開発に取り組む割合が低い。



出典: 総務省「科学技術研究調査」(2008年)

(注)

1. 資本金1千万円以上の会社から抽出した約13,800社を対象に調査。回収率は約76%。調査時点は2008年3月31日現在。
2. 社内(内部)で研究費を使用、又は外部に研究費を支出したと回答した企業を「研究開発有り」としている。
3. 従業者1～299人を中小企業、300人～を大企業としている。また、ここでの非製造業は、当該調査における「全産業」から「製造業」を除いた産業を指す。

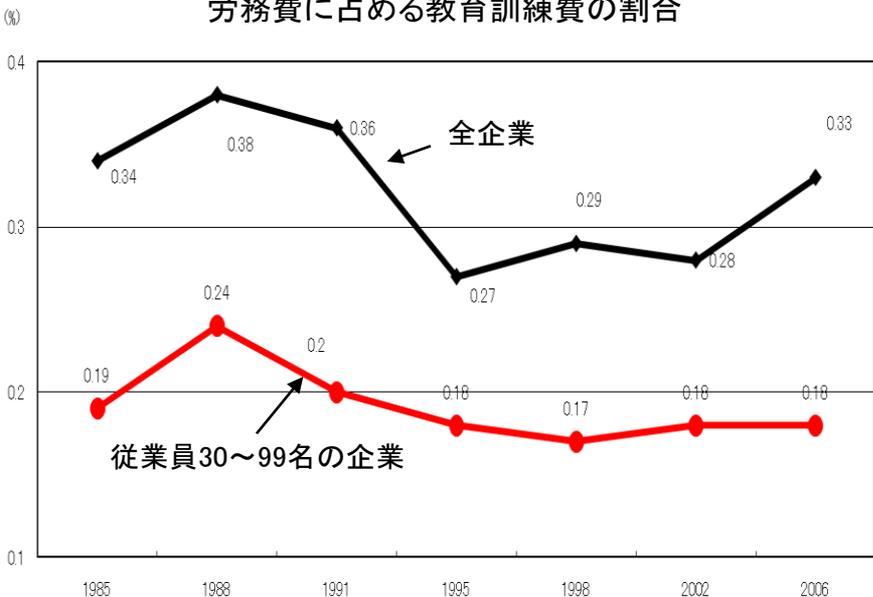
出典: 経済産業省「企業活動基本調査」再編加工、National Science Foundation/Division of Science Resources Statistics「Survey of Industrial Research and Development」(2004年)

(注) 日米ともに研究開発(R&D)の回答があった企業について集計。アメリカは連邦補助金を含まない。アメリカの値の定義にあわせ、日本の値も研究開発費から委託研究開発費を除き、受託研究開発費を加えている。

○中小企業の従業員に対する教育訓練費の労務費に占める割合は、低水準にあり、90年代に落ち込んだまま横ばいとなっている。

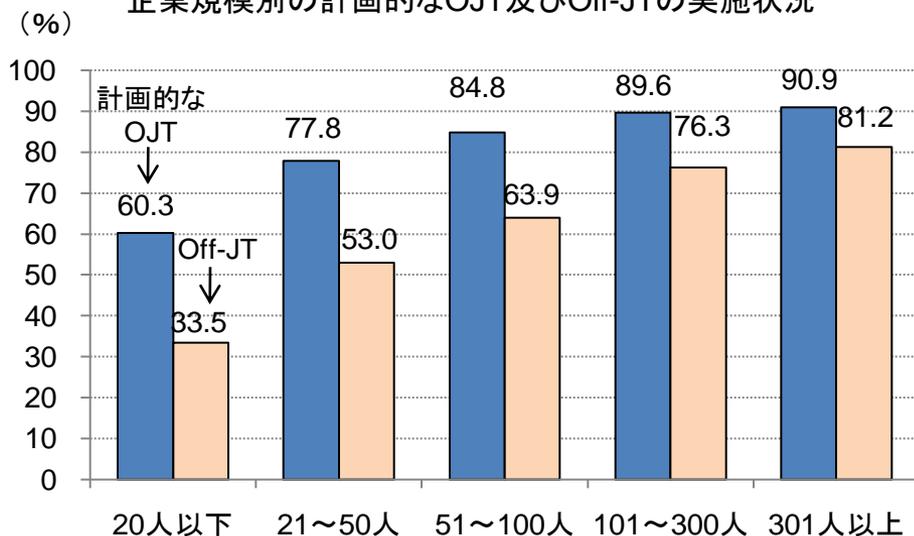
○従業員数規模の小さな企業ほど、Off-JTよりOJTによる人材育成を行う傾向が高い。

労務費に占める教育訓練費の割合



出典:厚生労働省「就労条件総合調査」等

企業規模別の計画的なOJT及びOff-JTの実施状況



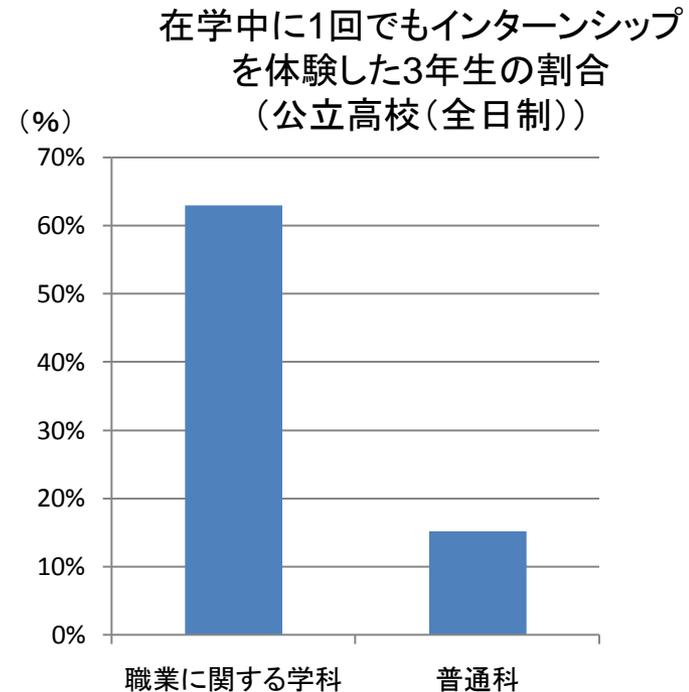
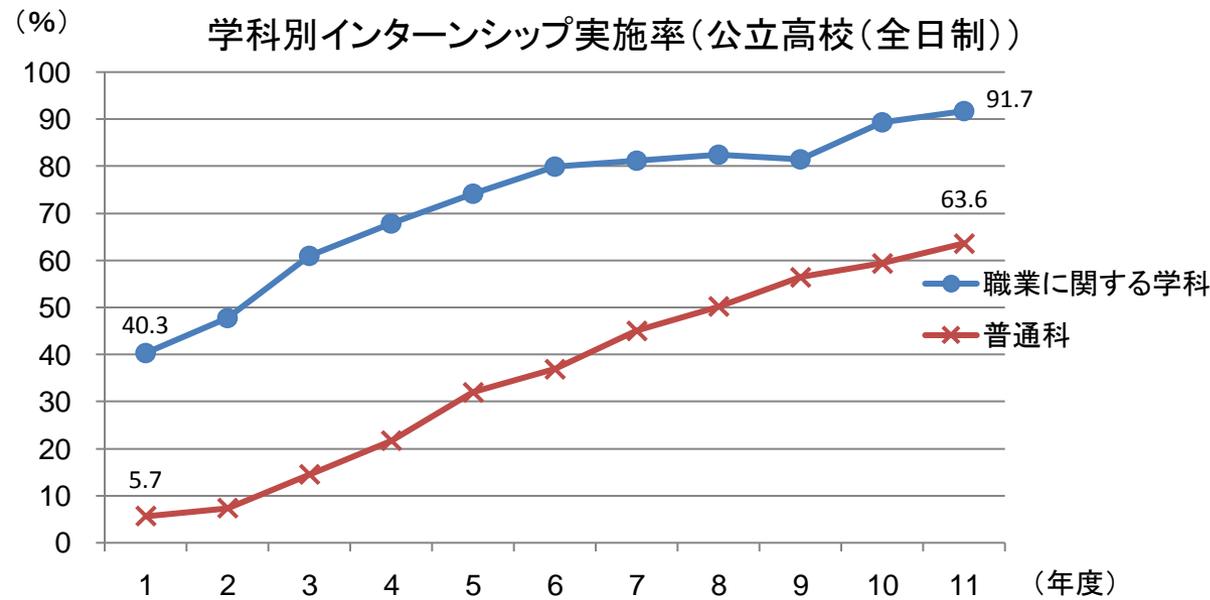
出典:中小企業庁「人材マネジメントに関する実態調査」(2008年11月)

(注)

1. 無回答は除いて集計している。
2. 正社員に対する人材育成の実施項目について「力を入れて実施している」、「実施している」と回答のあった企業の割合を集計した。
3. OJTとは実際に仕事をしながら仕事を覚えていく訓練(教育)のことを指す。
4. Off-JTとは、仕事の場を離れた訓練(教育)であり、研修等の実施等の訓練(教育)のことを指す。

○職業に関する学科では既に9割がインターンシップを実施。

○普通科においても、近年インターンシップ実施率の伸びが大きいですが、インターンシップを体験した生徒の割合は高くはない。



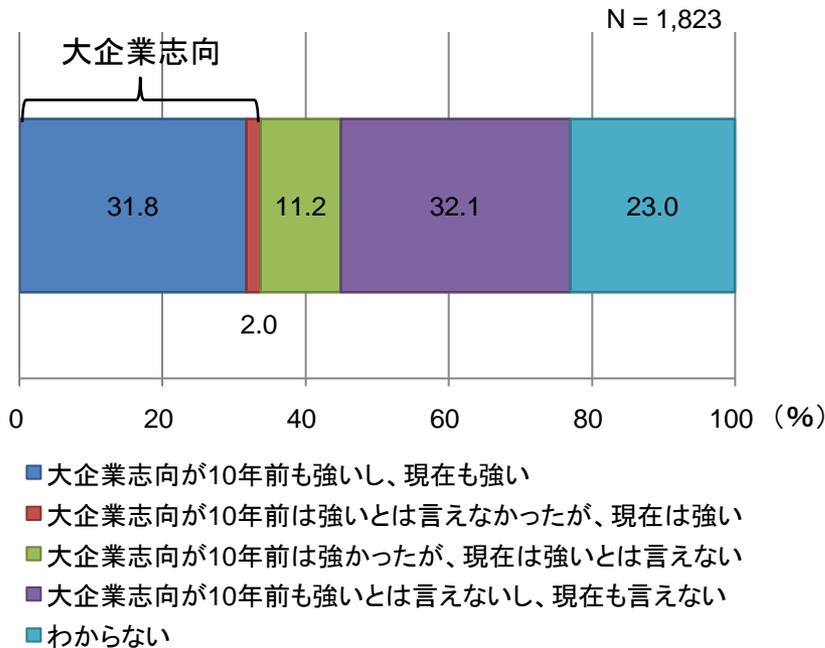
出典: 国立教育政策研究所生徒指導研究センター「職場体験・インターンシップ実施状況等調査」(2009年3月)

○学生が大企業志向が強いと答えた教育機関の割合は3割強。

○約9割弱の教育機関からは中小企業に就職。学校卒業後、起業・創業を行う学生は極めて少ない。

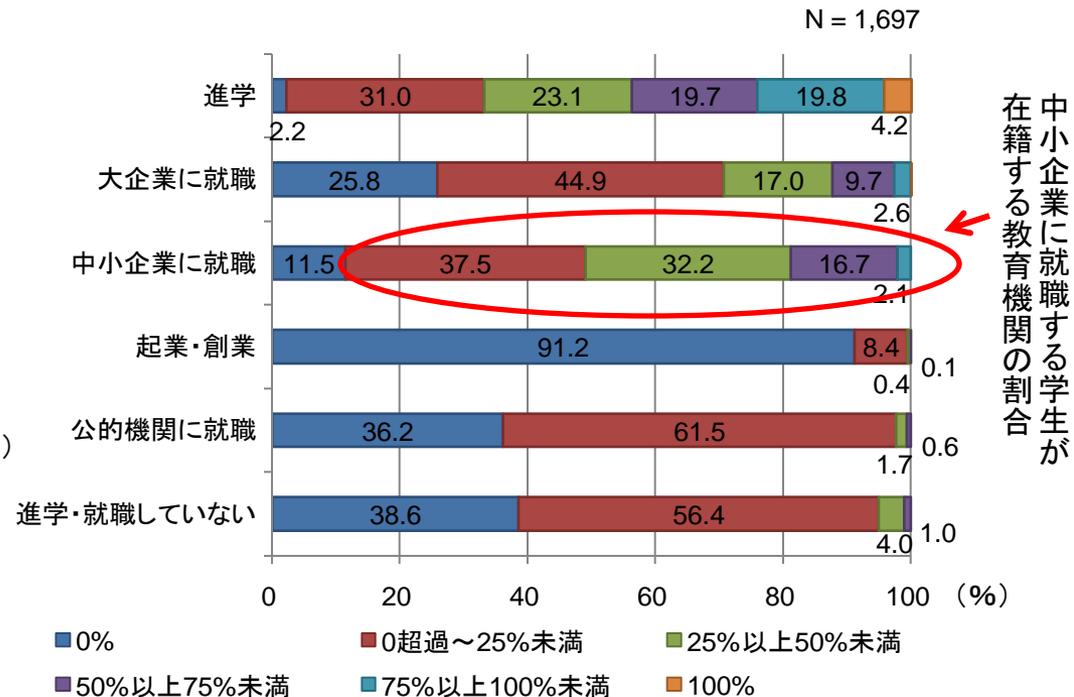
10年前と比べた学生の大企業志向

「学生の就職先の希望として、大企業への就職の志向の強さや10年前と比べた変化について、どのように感じるか。(複数回答不可)」との間に対する回答結果に基づく。



学生の進路の実態

「学生の進路の実態について、それぞれの進路(進学、大企業に就職、中小企業に就職、企業・創業、公的機関に就職、進学・就職していない)を選択する学生の比率が、合計で100%となるように回答して下さい。」との間に対する回答結果に基づく。



出典:(株)野村総合研究所「教育機関と企業の交流等に関するアンケート調査」(2008年12月)

(注)調査対象:全国の大学・大学院(工学・理学系・情報システム系)、高等学校(普通高校、商業高校、工業高校)、高等専門学校の5000学校・学科
回答のあった教育機関のうち、37.0%は普通高校、28.0%は大学、9.5%は工業高校、5.5%は商業高校、2.3%は高等専門学校となっている。